

第2回 新みやしろ郷土かるた制作委員会 議事録

日時	平成28年6月14日(火) 18時~20時35分
会場	宮代町役場 202会議室
出席	委員：田中委員長、関根副委員長、岡本、鈴木、青木、青柳、栗本、浅倉、松本、石川 事務局：佐藤室長、田中、小林 (敬称略・順不同)
欠席	なし
傍聴	6名

1 次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 現行かるたの競技体験
- (4) 審議
 - ① 新かるたの競技ルールについて
 - ② 新かるたの名称、箱のデザイン等の検討方法について
 - ③ 読み句の募集告知・応募促進策について
 - ④ 新かるたの普及活用の検討方策について
- (5) その他
- (6) 閉会

2 議事

(3) 現行かるたの競技体験

- みやしろ郷土かるたを競技体験



(4) 審議

① 新かるたの競技ルールについて

- 資料に沿って事務局から説明

決定事項

■役札のあり方について、引き続き検討を行う

→役札の種類と点数の設定について、引き続き検討を行うこととした

主な意見等

委員 日替わりで役札を変えても良いのではないかと。

委員 県のかるた大会でも、子供たちの活躍を期待したいことを考えると、競技ルールは県かるたとの整合性は必要だと思う。ただ、役札は不要だと思う。役札によって点数が増え、逆転されてしまうと、頑張ったたくさん取ったのに不公平という意見もある。

委員 役札は必要だと思う。私は、日替わりではなく、あらかじめ設定した方が良いと思う。

委員 郷土かるたのシンボル札は、町をPRするシンボリックな事物を表現したものであり、基本的には設定した方が良いと思う。ただ、具体的には作品が出てこない決められない。二種類設定すれば、競技としては面白味が増すと思うが、町のかるたでそこまでする必要はあるかは、疑問がある。

- 委員 役札はあっても良いと思うが、加算の点数が大きすぎるのでは。10点ではなく、5点とか、3点とかにしたらどうか。
- 委員 私は二種類あっても良いと思う。ただ、点数は下げた方が良い。
- 委員 私も、役札自体はあっても良いと思う。
- 委員 役札については様々な意見があるので、次回も引き続き検討を行いたい。
- 事務局 今日の段階では、結論が出なくても問題ない。読み句の選定を行う際に、役札の設定の有無で選定の手順等が変わってくるのが考えられるため、次回までには、役札の有無、方向性は決定したい。

② 新かるたの名称、箱のデザイン等の検討方法について

●資料に沿って事務局から説明

決定事項

■新かるたの名称は28年度町かるた大会参加の児童に公募する

→7月3日(日)に実施する平成28年度みやしろ郷土かるた大会の出場者を対象に、新かるたの名称を公募し、これをもとに制作委員会で決定する。

→選定方法、参加賞や入賞者への景品などの設定は、事務局一任とする。

■箱等のデザインは引き続き検討する

→役札(原画)の活用を中心として、名称(題字)、箱のデザイン(イラスト)ともに、引き続き検討する。

主な意見等 (新かるたの名称について)

- 委員 新旧それぞれのかるたが活きる名称が良い。初代かるたをおろそかにすることなく、初代かるたも大切にしながら、新かるたの名称を決めたい。
- 委員 初代かるたの名称を尊重して、あまり変えない方が良いのでは。
- 委員 同じ名称ではだめなのか。目的は同じなのだから、名称を変える必要はないと思う。あるいは、現在の名称に「新編」と付けるという方法もある。
- 委員 初代とは全く違ったものでも良いのではないか。子供たちの発想の中から名称を決めたい。読み句や絵札と同様に、子供たちから公募する方法が良いと思う。夏休みの宿題で取り組んでもらっても良いのでは。
- 事務局 学校側の負担にも考慮する必要がある。既に、読み句の募集で負担をかけているので、立て続けに、更なる負担をかけることはできるだけ避けたい。
- 委員 最低限、「みやしろ郷土かるた」という名称は使いたい。それに、一言つける程度の名称が良いのではないか。他の市町を見ても、概ね「郷土」「ふるさと」「〇〇町」を付けるという名称のパターンが多いようだ。
- 委員 私は、「新みやしろ郷土かるた」で良いと思う。
- 委員 せっかく全面改定するのだから、名称も新しい雰囲気を出したい。今どきのアイデア、表現を取り入れて、インパクトを出したい。今の名称も残しつつ、新しいものにする方が良いと思う。

- 委員 現行のかるたは、教育委員会によってあらかじめ名称が決められていたが、20年間使われているうちに愛着を持たれるようになった。子供たちは、名称へのこだわりはあまりない。競技に影響がないので。県のかるたも、初代はシンプルに「さいたま郷土かるた」という名前だった。そのため、二代目（彩の国21世紀郷土かるた）が出た当初は、呼びにくく感じたが、今はそれで定着している。今回は、制作委員会の案を示して、小中学生限定のパブリックコメントや、小中学生から募集する方法などでも良いと思う。
- 委員 かるたを使うのは、主に子供たちであり、そう考えると、子供たちから意見を聞く方法が良いと思う。たとえば、投票箱に投票してもらう方法はどうか。
- 委員 7月にかるた大会が行われる。150名ほどの小学生が参加する。その子供たちは、かるたに特に強い思いを持っていると思う。その子供たちを対象に、名称を公募すれば良いのでは。
- 委員 7月のかるた大会出場者を対象に公募することで決定したい。選定方法や景品の設定などは、事務局に一任する。

主な意見等（箱デザイン等について）

- 委員 ぜひ、小学生に公募してほしい。
- 委員 公募も良いと思うが、学校への負担を考えると、役札を配置する形が良いと思う。
- 委員 私も、役札を配置すれば良いと思う。
- 委員 役札を3枚並べる形で良いと思う。
- 委員 名称同様に、子供たちにとっては、パッケージのデザインもほとんど関係ない。ただ、箱は町のPRの良い場所になるということを考えると、シンボル札を使うことは一つの方法だろう。一方で、初代かるたは、シンボル札を使っていない。その時に盛り上がっていた題材を使っているのだろう。
- 委員 役札を表示すれば良い。
- 委員 私も、役札で良いと思う。
- 委員 仮にデザインを公募する場合には、先に名称が決まっていないと、デザインができないのでは。かるたの名称と箱の絵がちぐはぐなものになるのは良くない。
- 委員 シンボル札を使うにしても、その周りには色々なデザインができる。その部分だけでも、子供たちにもお願いしても良いと思う。また、裏面や横面などを使うことまで考えれば、色々できると思う。
- 事務局 先ほどの協議で、名称の決定が8月中に行えそうなので、名称を先に決め、9月以降に題字とパッケージデザインを行うという予定を組むことはできると思う。本日は結論が出なくとも大丈夫なので、次回会議で、更に詳細な検討をお願いしたい。

③ 読み句の募集告知・応募促進策について

- 資料に沿って事務局から説明

決定事項

- 読み句募集に関する小中学校への働きかけは、給食時の放送の活用を中心に実施する
→具体的な方法については、事務局が中心となって進める。

- 同じく一般募集の告知についても、公共施設等での周知を中心に積極的に実施する
→ポスターの活用、応募ガイドの配布により、一般募集の気運を高める努力を行う。

主な意見等

- 委員 全校集会での働きかけも、ぜひやった方が良い。
- 委員 一般募集でも、20年ぶりの改定ということで、町全体での盛り上げを図るため、力を入れた方が良い。応募ガイドもとても良くできていると思うので、できるだけ多くの人に配った方が良い。
- 事務局 予算の都合もあり、応募ガイドの部数には限りがある。できるだけ効果的に活用したい。あわせて、インターネット上でも公開し、ダウンロードできるようにする予定。そちらも積極的に使っていただきたい。
- 事務局 おかげさまで、応募ガイドについては好評いただいているところ。かるたが完成した際には、これを再活用した附属資料やマップなどの作成も併せて検討したい。
- 委員 限られたスケジュールの中で動いているため、できる範囲も限られてくる。学校との調整もあり、スケジュールの自由度があるわけではない。その中で、委員も協力できる部分に力を入れていく、という方法で進めたい。詳細な方法等については、事務局にお任せして、働きかけを行っていききたい。

④ 新かるたの普及活用の検討方法について

- 資料に沿って事務局から説明

決定事項

- 普及活用の方法について、次回以降、検討を進める
→各委員があらかじめ検討を行い、シートに記入し次回会議で検討する。

主な意見等

- 委員 宮代町は英語教育にも力を入れている。国際化促進ということもあるので、札には英語表記も加えたらどうか。具体的なイメージ（デザイン）は、後ほど提示する。
- 委員 その点では、点字を入れることも検討できると思う。障がい者でも楽しめるかるた、バリアフリーという視点で。これらについても、また次回以降検討したい。
- 事務局 今ご提案いただいたことを含め、次回会議では、たくさんのアイデアをご提案いただきたい。

(5) その他

決定事項

- 8月分までの会議日程を決定
- ・第3回 7月12日（火）
 - ・第4回 8月 2日（火）
 - ・第5回 8月 9日（火）
 - ・第6回 8月30日（火）